
闇夜の月

時雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

闇夜の月

【Nコード】

N7608P

【作者名】

時雨

【あらすじ】

ぬぬぬぬぬぬぬぬ

雨が降っている。

ぬぬぬぬぬぬぬぬ

その中で私は一人傘もささずに公園のブランコをゆっくりゆっくりこいでいた。

∞Infinity(前書き)

テイルズオブジアビスの原作寄りオリ主人公トリップ小説です!!
シリアス多め…?
女主です。

∞Infinity

ちぢぢぢ ちぢぢぢ

雨が降っている。

ちぢぢぢ ちぢぢぢ

その中で私は一人傘もささずに公園のブランコをゆっくりゆっくりこいでいた。

ちぢぢぢ ちぢぢぢ

雨が止む気配は全くと言っていいほど無い。

私はぼーっと遠くを見ていた。

人々が傘をさしながらせわしなく歩いている。

私の服はもうびしょ濡れだ。

ちぢぢぢ ちぢぢぢ

そんな私の目尻も濡れている。

それもこの雨のせいなのだろうか。

ちぢぢぢ ちぢぢぢ

ああ、私がこうして雨にうたれている間にも時は進んでいく。

私がいなくても、誰がいなくなっても地球は何も変わらなくまわり続ける。

私はこの地球にすんでいる大勢の人々のうちのたった一人。

ただ、それだけ。

私の存在意義とははたしてなんなのだろうか。

ぞぞぞ ぞぞぞ ぞぞぞ ぞぞぞ

雨は降り続ける。

『この世に偶然なんて無い。あるのは必然だけ』

そう、あの人は言った。

ならばこの出会い、この突拍子もない出来事もすべてこうなるよう
になっていたのだろうか。

全ては必然、そうなのだろうか。

十、、、

∞Infinity(後書き)

まさかの主人公最強とかになってしまっ可能性大かも…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7608p/>

闇夜の月

2010年12月31日01時18分発行